

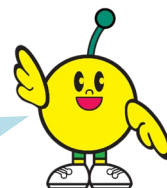
小中学生向け10の疑問から学ぶふくしま復興のあゆみ



福島を応援する「ペコ太郎」

福島県では、昔大きな地震があったみたいだけど、今はどうなっているのかな？
ニュースや新聞では「**廃炉**」や「**処理水**」ってよく見るけど、なんだか難しそうだなあ…

そんな福島についての疑問を、わかりやすく紹介したのが、「**小中学生向け10の疑問から学ぶふくしま復興のあゆみ**」なんだ！
10の疑問に分かれていて、最後には**クイズ**もあるみたいだよ。



福島県
復興シンボル
キャラクター
「キビタン」

10の疑問

- (1) 地震と津波の被害はどれくらいだったの？
- (2) 原子力災害はどんなものだったの？
- (3) 放射性物質ってなんだろう？
- (4) 廃炉作業ってなんだろう？
- (5) ALPS処理水ってなんだろう？
- (6) 避難指示等区域ってなんだろう？
- (7) 福島の食べ物はどうなったの？
- (8) 福島の観光はどうなったの？
- (9) 福島イノベーション・コースト構想ってなんだろう？
- (10) 風評被害ってなんだろう？

掲載ページ二次元コード



ページ例

10の疑問から学ぶ
ふくしま復興のあゆみ

◇小中学生向け◇

10の疑問から学ぶ
ふくしま復興のあゆみ

福島県
2024年7月22日発行

① 地震と津波の被害はどれくらいだったの？

2011年3月11日の地震は、マグニチュード9.0を記録し、国内観測史上最大級の地震だった。福島県では**最大震度6強**を記録し、地震で建物が崩れたり、土砂が崩れたりもした。海沿いの地域は、津波で大きな被害を受けた。

各地の震度と被害状況

震度5以上
震度4
震度3
震度2
震度1

津波被害：須賀川市
津波被害：白河市
津波被害：いわき市
津波被害：浪江町

この地震で亡くなった人は、**4,174人**※（2024年5月1日時点）。そのうち、地震・津波が直撃の原因で亡くなった人は、1,605人で、そのほとんどが津波によって亡くなった方なんだ。また、その後の避難生活などで体調を崩して亡くなった方は、2,343人で、このように亡くなってしまったことを、「**震災関連死**」という。

※数字が正確ではないが、亡くなったものとして報告されている男女と226名をまと

④ 廃炉作業ってなんだろう？

原子力発電所は、今は「**廃炉**」に向けて作業が進められている。廃炉とは、原子力発電所の運転を停止して、解体することをいう。今は、主に**4つの作業**に分けて進められている。全て終わるまでは、30年から40年かかるといわれている。

廃炉作業の内容

- 1 使用済燃料プールからの燃料取り出し
- 2 燃料プールの取り出し
- 3 廃炉作業の計画
- 4 廃炉作業の進捗

燃料取り出しとは、使用済みの燃料が残っている。燃料は使用済み燃料や放射線を出しているため、使用済燃料プールで冷却保管されています。燃料をより安全な場所で保管するため、燃料を取り出し、備内の高層プールへ搬送します。

燃料プールの取り出しとは、原子炉建屋内にあった燃料が壊れ、さまざまな放射性物質に混じりながら残っています。その取り出し作業は、高層プールへ搬入し、高層プールの取り出しを行います。

高層プールの取り出しとは、高層プールに貯蔵された使用済み燃料を、高層プールの取り出し機で取り出し、高層プールの取り出し機で取り出し機に搬入します。

高層プールの取り出しとは、高層プールに貯蔵された使用済み燃料を、高層プールの取り出し機で取り出し、高層プールの取り出し機で取り出し機に搬入します。

高層プールの取り出しとは、高層プールに貯蔵された使用済み燃料を、高層プールの取り出し機で取り出し、高層プールの取り出し機で取り出し機に搬入します。

- ・ 震災から13年以上が経過し、風化が進む中で、若い世代への**記憶と教訓の継承**が課題となっています。
- ・ 未曾有の複合災害の記憶と教訓を「**自分事**」として捉え、復興に向けて挑戦を続ける本県の姿を学ぶきっかけを作るため、復興の状況を分かりやすくまとめた資料です。
- ・ 復興に関する**10の疑問**に答える形で、説明には図や写真、グラフを多く使用するなど、小中学生にも分かりやすい内容としていますので、是非ご覧下さい。

お問合せ先

福島県 企画調整部 復興・総合計画課 E-mail fukkoukeikaku@pref.fukushima.lg.jp